

## 第1回ワークショップの結果

田原地域を取り巻く課題として、「買い物などの日常生活の利便性が低い」「賑わいやまちの個性を感じにくい」「人との交流ができる場所の少なさ」「景観や雰囲気の暗さ」「子育て関連のサービス」に関する意見が目立ちました。

課題解決のための使い方や遊休地の使い方のアイデアについては、「飲食やスポーツの場所づくりや地域資源を活用したイベント実施、安全かつ制約が少ないのびのびと遊べる環境整備等により、子どもからお年寄りまであらゆるターゲット層が賑わいと交流を創出させていくような使い方への関心が高い結果となりました。



## 第2回ワークショップの結果

良いところ・強みを踏まえ、将来像を整理すると場所の使い方や目的性などに特徴がみられました。

特に「人との交流やつながりを意識」「豊かな感性や自己実現を支える」「自然を活かした遊びや健康づくり」「子育てのしやすさ」「イベント等を通じた多世代交流の創出」「歴史資源を活かした田原地域らしさの醸成」等の実現・質の向上を志向する将来像がみられました。



## ワークショップを踏まえた「今後の進め方」について

- 田原地域においては、複数の遊休地（公有地）が存在し、地域住民ニーズを把握しながら地域の活性化に寄与するための利活用を検討してきました。全3回のワークショップを通して、地域住民の皆様から得られた課題や将来像、まちづくり案を得ることができました。
- 今後は、遊休地（公有地）の利活用を検討する際に活用させていただき、具体的なまちづくりに落とし込んだ活用基本構想として取りまとめます。
- 活用基本構想を踏まえながら、具体的なまちづくり事業への契機となるよう、地域住民の皆様と連携を図りながら、まちづくりを推進していきます。

## これまでのワークショップの「振り返り」

田原地域の未来を導き出すことを目的とした全3回のワークショップは地域住民のほか、中学校の生徒も参加いただきました。

中学生からは大人とは違う視点のアイデアを多く出していただき、中学生を中心に賑やかな雰囲気のなか議論することができました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。